

第 11 回日本ヒスタミン学会プログラム

幹事会 12:30～13:30

富山第一ホテル 2階 橋の間

一般講演

12月14日(金)

14:00 開会の辞 服部裕一(富山大)

Biochemical & Molecular Biology (14:05～14:53)

座長：櫻田忍(東北薬大)、竹村基彦(兵庫医大)

- 演題 1** 14:05 HPLC-電気化学的検出法によるヒスタミンならびに N¹-メチルヒスタミン測定法の開発
○Martin Maldonado、渡部桂子、前山一隆
(愛媛大院・医・統合生体情報・薬理)
- 演題 2** 14:17 有機カチオントランスポーターOCT3 (*SLC22A3*) の遺伝子多型 (SNPs) とヒスタミン輸送活性
○安西尚彦¹、坂田武^{1,2}、金井好克¹、遠藤仁¹
(¹杏林大・医・薬理、²(株)富士バイオメディックス)
- 演題 3** 14:29 ゼブラフィッシュにおけるヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子について
○大津浩¹、工藤久智²、ペルティ パヌラ²
(¹東北大・院・工・応用量子医工、
²ヘルシンキ大・生物医学研・神経科学センター)
- 演題 4** 14:41 ヒスタミン H4 受容体 C 末端結合蛋白質 Rac の同定
○若林深恵、倉増敦朗、谷内一彦
(東北大院・医・機能薬理)

Neuroscience I & Behavioral Pharmacology (14:53～15:41)

座長：亀井千晃(岡山大)、前山一隆(愛媛大)

- 演題 5** 14:53 Leptin の摂食調節における Glucagon-like peptide-1、corticotropin-releasing hormone、神経ヒスタミンの関与
○加島尋、後藤孔郎、藤原貫為、正木孝幸、千葉政一、坂田利家、吉松博信
(大分大・医・生体分子構造機能制御・内科 1)

- 演題 6** 15:05 ナルコレプシー治療薬モダフィニルによるオレキシン神経系を介したヒスタミン神経系の活性化
○石塚智子^{1,2}、村上雅寛²、室谷知孝²、大和谷厚²
(¹鈴鹿医療科学大・東医研、²大阪大院・医・保健)
- 演題 7** 15:17 ヒスタミン代謝酵素阻害薬による覚せい剤誘発常同行動のパターン変化
○北中純一、北中順恵、立田知大、守田嘉男、竹村基彦
(兵庫医大・薬理、精神科神経科)
- 演題 8** 15:29 ヒスタミン受容体欠損マウスの行動特性とヒスタミン受容体の役割
○櫻井映子、倉増敦朗、渡邊建彦、谷内一彦
(東北大院・医・機能薬理)

休憩 15:41～15:55

Neuroscience II & Pain Science (15:55～16:43)

座長：吉松博信（大分大）、見尾光庸（就実大）

- 演題 9** 15:55 結節乳頭核ヒスタミンニューロン活動が覚醒状態の発現に果たす役割
○高橋和巳¹、小山純正²、香山雪彦¹、酒井一弥³
(¹福島県立医大・医・神経生理、²福島大・共生システム理工
³INSERM U628・クロードベルナル大)
- 演題 10** 16:07 鍼刺激がもたらす鎮痛効果に対する内因性オピオイドを介した脳内ヒスタミン神経系の関与の可能性
○室谷知孝¹、石塚智子²、王曉明³、佐々木和郎³、大和谷厚¹
(¹大阪大院・医・保健・医用物理工、²鈴鹿医療科学大・東医研、
³鈴鹿医療科学大・鍼灸)
- 演題 11** 16:19 神経障害性疼痛モデルマウスの痛覚過敏発現におけるヒスタミンの役割
○小林悠佳、米澤章彦、渡辺千寿子、溝口広一、櫻田忍
(東北薬大・機能形態)
- 演題 12** 16:31 ヒスタミンによる痒みの脳内メカニズム研究: fMRI 研究
○谷内一彦¹、望月秀紀^{1,2}、岡村信行¹、加藤元久¹、櫻井映子¹、
定藤規弘²
(¹東北大院・医・機能薬理、²生理学研究所)

Vascular Biology & Hepatology (16:43~17:43)

座長：川崎博己（岡山大） 小澤光一郎（広島大）

- 演題 13** 16:43 ブタ眼毛様体動脈のヒスタミンおよびセロトニン血管反応の特異性—脳動脈との比較
○樋口宗史、弦巻立、長井慎吾
(新潟大院・医歯・分子細胞医・薬理)
- 演題 14** 16:55 ヒスタミンによる血管平滑筋の誘導性一酸化窒素合成酵素の発現増強
○谷本昭英、Ke-Yong Wang、山田壮亮、笹栗靖之
(産業医大・医・病理2)
- 演題 15** 17:07 ヒスタミンレセプターと動脈硬化（第二報）
○山田壮亮¹、谷本昭英¹、Wang Ke-Yong¹、渡邊武²、笹栗靖之¹
(¹産業医大・医・病理2、²理化学研究所・免疫アレルギー研究センター)
- 演題 16** 17:19 ニッケル線誘発急性炎症におけるプロスタグランジンおよびヒスタミンの関与
○平澤典保、五井嘉明、石原研治、大津浩、青木淳賢、大内和雄
(東北大院・薬・分子細胞生化)
- 演題 17** 17:31 ジムプリットのH4作用によるラット虚血性肝障害の改善
○劉克約¹、元木敦子²、足立尚登³、長櫓巧²、高橋英夫¹、菅家徹¹、西堀正洋¹
(¹岡山大院・医歯薬・薬理、²愛媛大院・医・麻酔蘇生、³馬淵診療所)

休憩 17:43~18:00

特別講演 18:00~19:00

座長：福井裕行（徳島大）

『Molecular Analysis of Histamine Receptors in Sf9 Cells』

Prof. Roland Seifert

(Department of Pharmacology and Toxicology, University of Regensburg)

懇親会 19:30~21:00

富山第一ホテル 3階 天平の間

12月15日(土)

シンポジウム (9:05~10:45)

テーマ『H4受容体の調節機構と病態生理学的役割』

座長：大和谷厚（大阪大）、谷内一彦（東北大）

- S1** 9:05 ヒスタミンH4受容体発見による選択的リガンド開発とその現状
○春沢信哉
(大阪薬大・薬品合成化学研)
- S2** 9:30 H4受容体の機能を探る—マスト細胞の成熟/腫瘍免疫
○田中智之
(武庫川女子大・薬・免疫生物)
- S3** 9:55 自然免疫と獲得免疫応答におけるヒスタミンの役割
○西堀正洋¹、高橋英夫¹、岡野光博²、西崎和則²、森秀治³
(¹岡山大院・医歯薬・薬理、²同・耳鼻咽喉科、³就実大・薬・薬)
- S4** 10:20 敗血症主要臓器におけるヒスタミンH4受容体の役割
○松田直之¹、服部裕一²
(¹京都大院・医・初期診療・救急医、²富山大院・医薬・分子医科薬理)

休憩 10:45~11:00

一般講演

Allergology (11:00~11:48)

座長：稲垣直樹（岐阜薬大）、大森健守（横浜薬大）

- 演題 18** 11:00 アレルギー性結膜炎におけるヒスタミンH1受容体とH4受容体の役割
○中野祥行、高橋佑次、小野利恵、倉田康憲、香川陽人、亀井千晃
(岡山大院・医歯薬・薬効解析)
- 演題 19** 11:12 乳酸菌によるアレルギー性鼻炎改善作用
○松下知世¹、Shrabanti Dev¹、Asish K. Das¹、前山一隆²、大川隆行³、
西田清隆⁴、水口博之¹、小嶋純⁴、福井裕行¹
(¹徳島大院・ヘルスバイオサイエンス・分子薬物
²愛媛大院・医・薬理、³おとし内科クリニック
⁴興和創薬(株)・医薬研)
- 演題 20** 11:24 マウス金属アレルギーモデルにおけるヒスタミンの関与
○金原正敬¹、谷内一彦²、大津浩³、菅原俊二¹、遠藤康男¹
(¹東北大院・歯・口腔分子制御、²同・医・機能薬理、
³同工・応用量子医工)
- 演題 21** 11:36 放射線皮膚障害におけるヒスタミンH1受容体の関与
○呉山尚子¹、山本浩一¹、藤井香苗¹、岡村啓太¹、森安彩子¹、
池田稔治²、大和谷厚¹
(¹大阪大院・医・保健、²大阪大・産業科学研)
- 11:50 閉会の辞 服部裕一（富山大）